

島原カーボンニュートラルコンテスト 2024! 応募用紙
(学生の部)

フリガナ	アラキ サリナ 荒木 咲里奈		
住所	〒855-0075 長崎県島原市下折橋町4520番地		
学校名と学年	長崎県立島原農業高等 学校 2年 L組		
連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 携帯 <input type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> 学校	(0957-62-5135)	担任 西村歩
活動案の場合の表題	島原伝統の榎の木「昭和福榎」を活用した 持続可能な町おこし		
作品コメント(任意) (50文字以内で、作品に込められた 思いなどを書いてください)	島原は「昭和福榎」が栽培され、 災害から復興してきた。その昭和福榎を継承し、 持続可能な町をつかっていきたい。		

<<募集内容>>

①カーボンニュートラル(地球温暖化防止も可)推進のポスター(四つ切り画用紙)

②島原にマッチしたカーボンニュートラル活動案(文章の他、図面でも可)

※ポスターや文書、図面には下記切り取り線部分を切り取り、裏面に必ず貼り付けてください。

※※表彰作品については、学校名と氏名を付けて市役所ロビー等で一定期間掲示します(審査後、表彰者以外の作品は全てお返しします)。加えて全応募作品は電子データとして当協会のホームページ等で無記名公開します。

◆応募は未発表のオリジナル作品に限ります。他の作品の模倣・類似と認められる作品は、入賞決定後であっても賞を取り消す場合があります。

作品の著作権はすべてNPO法人島原カーボンニュートラル推進協議会に帰属するものとします。

◆一人につき1作品までに限ります。

◆小学生は保護者か、学校を通しての応募に限ります。提出は下記提出先に郵送か、市役所市民部環境課への持参をお願いします。

◆頂いた個人情報は本コンテストのみに使用し、コンテスト終了後その情報は、すみやかに破棄します。

<提出先>

〒859-1404 長崎県島原市有明町湯江丁2932

NPO法人 島原カーボンニュートラル推進協議会

島原カーボンニュートラルコンテスト事務局

TEL: 050-5211-5530

↓ 作品の裏面に必ず添付してください

島原伝統の檜の木「昭和福櫃」を活用した 持続可能な町おこし

活動の動機



島原藩は江戸時代から、雲仙普賢岳災害の復興のため、**檜の木「昭和福櫃」**の栽培が行われていた。しかし、31年前に発生した千本木地区の火砕流災害により、甚大な被害を受けた。

現在では、島原市有明町大三東にある本多木蠟工業所の本多様を中心に「昭和福櫃」の植樹活動が行われている。私たちは、島原伝統の「昭和福櫃」の継承と情報発信を行うため研究活動を始めた。何度も実験を行った結果、島原の伝統文化「**和ろうそく**」の**新商品**を開発することができた。開発した商品は観光案内所や学校行事、地域のイベントで販売し、「昭和福櫃」の普及と情報発信を行うことができた。



開発した和ろうそく



本多木蠟工業所
本多様

昨年度の活動案の取組み

私たちは、更に幅広い世代の方々に島原の伝統産業である「昭和福櫃」を普及したいという想いから、「**石鹸**」の新商品を開発した。石鹸の原料には、**地域資源**である昭和福櫃・島原の湧水・島原半島産レモン（香り・色付け）を活用した。この石鹸は石油燃料を使用しない、**自然由来の石鹸**で脱炭素化に繋がる商品である。



開発した石鹸

今後の活動案

～脱炭素社会と島原の伝統文化の継承のため～

- ・ **地域資源を活用した新商品の開発**
島原の地域資源を活用し、**自然由来のワックス**を開発することで**脱炭素社会の実現**を目指す。
- ・ **体験活動の実施**
開発した商品に関する体験活動を行うことにより、**伝統文化の継承**と**地域活性化**を目指す。



体験活動



研究発表



研究紹介

自然由来の地域資源を活用し、脱炭素社会の実現と地域活性化を目指す

島原カーボンニュートラルコンテスト 2024! 応募用紙

(学生の部)

フリガナ 氏名	ミツオ ユツキ 満尾 優月		
住所	〒855-0075 長崎県島原市下折橋町4520番地		
学校名と学年	長崎県立島原農業高等学校 / 年 F 組		
連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 携帯 <input checked="" type="checkbox"/> メール	(0957-62-5135)	担任 西村 秀
活動案の場合の表題	島原半島産「ブロッコリー」の未利用部位を活用した 新商品開発と地域活性化		
作品コメント (任意) <small>(50文字以内で、作品に込められた 思いなどを書いてください)</small>	島原半島の「ブロッコリー」を最大限活かし、 脱炭素社会の実現と地域活性化を行いたい。		

<<募集内容>>

①カーボンニュートラル(地球温暖化防止も可)推進のポスター(四つ切り画用紙)

②島原にマッチしたカーボンニュートラル活動案(文章の他、図面でも可)

※ポスターや文書、図面には下記切り取り線部分を切り取り、裏面に必ず貼り付けてください。

※※表彰作品については、学校名と氏名を付けて市役所ロビー等で一定期間掲示します(審査後、表彰者以外の作品は全てお返しします)。加えて全応募作品は電子データとして当協会のホームページ等で無記名公開します。

◆応募は未発表のオリジナル作品に限ります。他の作品の模倣・類似と認められる作品は、入賞決定後であっても賞を取り消す場合があります。

作品の著作権はすべてNPO 法人島原カーボンニュートラル推進協議会に帰属するものとします。

◆一人につき1作品までに限ります。

◆小学生は保護者か、学校を通しての応募に限ります。提出は下記提出先に郵送か、市役所市民部環境課への持参をお願いします。

◆頂いた個人情報は本コンテストのみに使用し、コンテスト終了後その情報は、すみやかに破棄します。

<提出先>

〒859-1404 長崎県島原市有明町湯江丁2932

NPO 法人 島原カーボンニュートラル推進協議会

島原カーボンニュートラルコンテスト事務局

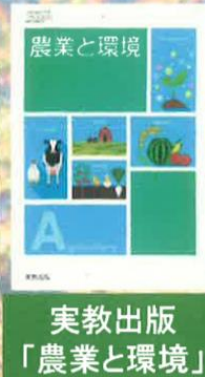
TEL : 050-5211-5530

↓ 作品の裏面に必ず添付してください

島原半島産ブロッコリーの未利用部位を活用した 新商品開発と地域活性化

農業の専門の授業での学習

私たちは、農業の専門科目の授業を通して、島原半島は農業が盛んであることを学んだ。
また、近年ブロッコリーの栽培が盛んに行われていることを学んだ。ブロッコリーは、農林水産省が2026年度から「指定野菜」とすることを決定しており、全国でも注目されている野菜である。

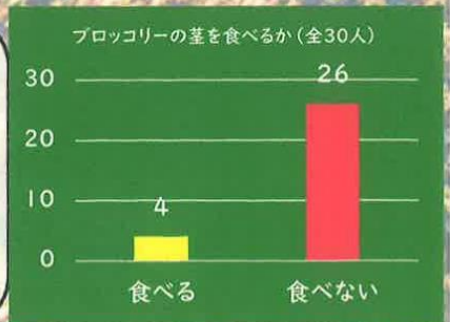


活動の動機

私たちは今後、ブロッコリーの栽培・消費量が増加すると考えた。そこで、農業の専門で学んだ知識を活かし、ブロッコリーを活用した新商品を開発することで、地域活性化ができないかと思い研究活動を始めた。

活用部位の検討(アンケート調査)

私たちは、ブロッコリーの活用部位の検討を行うためアンケート調査を実施した。
その結果、ブロッコリーの茎と葉は食用にされず廃棄されているという現状があることを知った。



今後の活動案

- ・ブロッコリーの未利用部位(茎・葉)を活用した新商品の開発
ブロッコリーの茎と葉を活用した実験を行い、菓子類の試作を行う。
ブロッコリーの廃棄される部位を活用し、脱炭素社会を実現する
- ・新商品を開発して販売し、島原の農産物の情報発信
新商品を開発して販売を行うことで、島原の農産物の魅力を発信

**ブロッコリーの未利用部位(茎・葉)を活用した
新商品の開発を通して脱炭素社会の実現**